BANDAI NAMCO
Fun for All into the Future

News Release

2026年11月4日
株式会社 バンダイナムコ エクスペリエンス
https://xp.bandainamco-am.co.jp/

アミューズメント施設で年間約211トンのCO_2排出量を削減

国内生産バイオマスプラスチック100%の袋を全国で導入開始

「脱炭素化」と「安定調達」を両軸で推進

株式会社バンダイナムコエクスペリエンス（本社：東京都港区／代表取締役社長：川﨑 寛）は、全国のアミューズメント施設で配布するプラスチック袋について、国内生産のマスバランス方式による植物性廃棄物由来のバイオマスプラスチックを100%使用した袋※への切り替えを2027年１月より順次開始します。同時に、従来品と比べて15%以上の薄膜化を図り、プラスチック使用量を削減します。

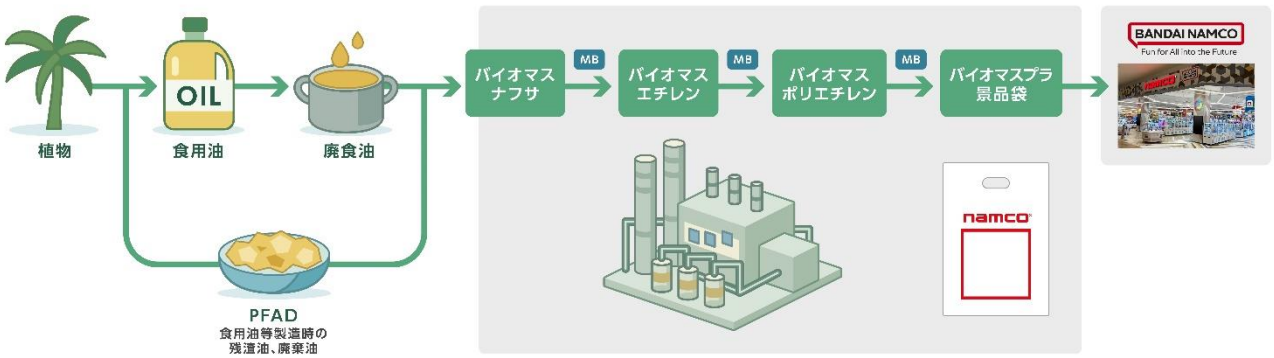
本取り組みにより、全国のアミューズメント施設で使用するプラスチック袋由来のCO_2排出量を年間約211トン削減できる見込みです。これを通じて、アミューズメント業界における脱炭素化の推進に貢献します。

※添加剤やインキなどの副原料を除く、主原料のポリエチレンに占める比率です。





■バイオマスプラスチック袋製造の流れ



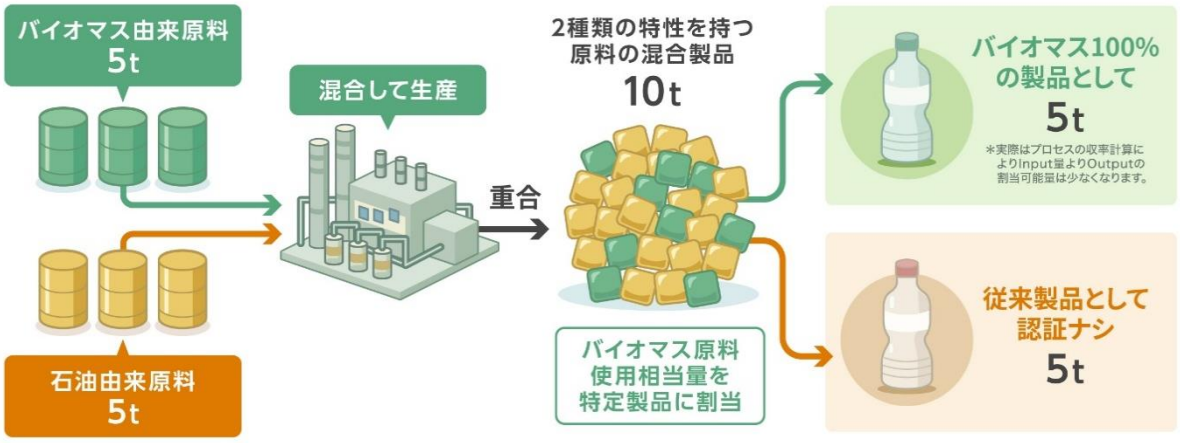
※MB：マスバランス方式

※ニュースリリースの情報は発表時現在のものです。発表後予告なしに内容を変更、中止することがあります。※画像はイメージです。

©Bandai Namco Experience Inc.

■マスバランス方式とは　（環境省HPより）

原料から製品への加工・流通工程において、特性の異なる原料が混合される場合に、ある特性を持つ原料の投入量に応じて生産する製品の一部にその特性を割り当てる手法です。プラスチック製品を含む、さまざまな分野の製品に適用されています。



■「CO_2削減」と「安定調達」を両軸で推進

本取り組みは、環境価値の創出に加え、化石資源への依存低減にも貢献するものです。近年の国際情勢の変化に伴う原材料調達リスクを見据え、プラスチック原料を石油ナフサから分散型の再生可能資源へと切り替えることで、原材料の安定調達に向けた体制構築を推進します。

バンダイナムコエクスペリエンスは、「CO_2削減」と「安定調達」に両立を図り、持続可能なエンターテインメント運営の実現を目指してまいります。

【バイオマスプラスチック袋製造協力会社】

・三井化学株式会社(バイオマスエチレン製造)

・株式会社プライムポリマー(バイオマスポリエチレン製造)

・有限会社コジマ正直堂本舗(バイオマスプラスチック袋製造)

■バンダイナムコグループにおけるプラスチック環境配慮の取り組み

バンダイナムコグループでは、マテリアリティとして掲げる「地球環境との共生」において、「資源・原材料の持続可能な利用」を重要項目の一つと位置付けており、これまでもグループ各社で、天然資源をはじめとした原材料の使用量削減や効率的な利用、廃棄物の発生抑制・削減に取り組んできました。これらの取り組みをさらに推進し、より具体化するものとして、2025年4月に「バンダイナムコグループ プラスチック環境配慮方針」を策定しました。本方針のもと、化石資源由来のプラスチックの削減とリサイクルに、これまで以上に注力していきます。

・「バンダイナムコグループ プラスチック環境配慮方針」

https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/plastic/index.html

※ニュースリリースの情報は発表時現在のものです。発表後予告なしに内容を変更、中止することがあります。※画像はイメージです。

©Bandai Namco Experience Inc.